

令和7年度 立川市立立川第五中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	<input type="radio"/> 自ら進んで勉強する人になろう <input type="radio"/> あたたかい思いやりのある人になろう <input type="radio"/> 良いことは進んで実行する人になろう <input type="radio"/> 心身ともに健康な人になろう
---------	---

生徒に育成を目指す資質・能力	教科や学年全体に共通する取組
<input type="radio"/> 確かな学力を基盤に、主体的に学び、向上しようとする態度	<input type="radio"/> 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、主体的・対話的で深い学びの実現のための授業改善に継続して取り組む。
<input type="radio"/> 課題に対して粘り強く取り組み、やり抜く力	<input type="radio"/> 生徒が目標達成のための学習に取り組み、自ら振り返ることで「今後の学習改善に生かす」というPDCAサイクルの視点をもった授業づくり。
<input type="radio"/> 規範意識と思いやりの心	<input type="radio"/> 1人1台タブレットPC、ICT機器を全教員が活かし、効果的な指導方法の工夫と改善を図る。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	<input type="radio"/> 社会生活に必要な知識や技能を身に付け、言語文化に親しんだり、理解したりすることができる力 <input type="radio"/> 社会生活に必要な国語についての課題を見いだし、課題解決に向けた考えをもち、表現する力	<input type="radio"/> 他教科や総合的な学習の時間との連携から、授業を多角的な視野で見直し、学習指導の方法を工夫する。 <input type="radio"/> 主体的・対話的で深い学びを実現するために、グループワークを工夫し、協働的な学びの充実を図る。 <input type="radio"/> 生徒が自分に合った目標を設定し、自らの課題を生徒自身が確認し、次の学習に生かせるようにする。
社会	<input type="radio"/> 国や都道府県、山脈、大河等の位置関係等の基礎的・基本的な知識・技能 <input type="radio"/> 現代社会の様々な事象について多面的・多角的に考察し、それらを表現する力	<input type="radio"/> 基礎的・基本的な事項についての小テストや単元の最後に振り返りを行いその定着を図る。 <input type="radio"/> 資料の読み取り、少人数での話し合いなどの活動を通して、多様な意見を聞き、考察、そして考察結果を他者へ説明する活動を取り入れる。
数学	<input type="radio"/> 数学の基礎的な概念や原理・法則などを理解し、基礎的・基本的な計算をする力 <input type="radio"/> 数学的な考え方を活用して、事象を論理的に考察し、表現する力	<input type="radio"/> 基本的な問題の演習や振り返り活動を充実させ、学習内容の定着を図る。 <input type="radio"/> 話し合い活動を充実させ、様々な解法の共有を行い、多角的な見方や系統立った考え方ができるようにする。
理科	<input type="radio"/> 自然の事物・身の回りで起きる生活の事象に課題、問題を見出し、自ら解決できる力 <input type="radio"/> 日常生活との関連性に気付き、自ら探究する力	<input type="radio"/> 授業で理科用語、実験・観察に関する内容等の小テストを定期的に行うとともに、プリント課題・1人1台タブレットPCを活用して、自宅での学習習慣を身に付けさせ、学力の定着を図る。 <input type="radio"/> 授業を通して、普段の生活中での多くの事象に理科が関わっていることに気付き、教科としての面白さや有用性を味わえるようにする。

音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を愛好する心情や音楽に対する感性 ○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、他者と協力し、音楽文化と豊かに関わる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習活動の中で、様々な音楽のもつ固有の価値について、その類似点や相違点を探し、多様性を理解できるようにする。 ○音楽の特性を踏まえ、主体的な学びを通して、目標を設定させ感受する力や表現力を高める指導を工夫する。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら主題を生み出し、豊かに発想し構想を練る力 ○表現方法を創意工夫して表し、創造活動の喜びを味わいつつ、美術を愛好する態度 ○他者との見方・考え方の違いを感じ取り、受け入れる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートを活用して多角的に構想を広げ、自らの表現方法を見付けることができるようになる。 ○様々な素材や用具に触れる機会をつくり、主体的に課題に取り組むことができるようになる。 ○題材や授業ごとに鑑賞活動を行い、他者の意見や作品を見る活動を取り入れ、互いにそのよさを認め合うようになる。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の役割を果たし、互いに協力する中で、一人一人の違いを認めようとする態度 ○運動における自己の課題を見付け、合理的な解決方法を考え、他者と伝え合う力 ○思考・知識の言語化する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ内で分担した役割を果たすとともに、ペアやグループで学習を支援し、他者の意見に耳を傾ける姿勢を身に付けさせる。 ○自分自身の振り返り、相互評価により各自の課題と、その解決方法を見付けるとともに、学習カードを活用し、他者の意見を踏まえて自己の解決方法をよりよくすることができるようになる。 ○ICT 機器の活用(振り返りなどのまとめなど)及び調べ学習でのプレゼンテーションの工夫をさせる。
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に学んだ知識や技術を工夫し、創造しようとする実践的な態度 ○よりよい生活の実現に向けて必要な、基礎的な知識・技能 ○知識・技能を生かして、生活の中の課題を解決する力、生活を工夫し創造する態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業内で ICT 機器を活用し、視覚的情報提供を図る。 ○生徒自ら進度や課題を確認しやすいよう工夫し、個別最適な学びを促進する。 ○ニュースや社会的トレンドから授業を展開することで、生活中の課題を自分事として見いだし、積極的に課題解決に取り組めるようになる。 ○グループで学び合う学習形態を設定し、学びを深められるようになる。また、家庭でも実践できる課題を設定する。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能を身につけ、伝えたいことや知りたいことを英語で表現できる力 ○外国語の背景にある文化に対して興味をもちコミュニケーションを通して異文化を理解しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○新出文法の導入や口頭練習を計画的に行い、基本的な知識・技能の定着を図る。パフォーマンステストを計画的に取り入れて、実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。 ○身近な日本文化との対比から、異文化について主体的・対話的で深い学び合いになるように、ペアワーク・グループワークの学習形態を取り入れる。